



南豫通運㈱
兵藤 康太郎
【2008年度入会】

この長引く不況の中、この町の為、宇和島の為に自分が何か出来る事はないだろうかと考えた、自分を変えたい、成長したいと言う思いで3年前にJCIに入会させていただきました。

まだ3年ですが、色々な事業に参加することでたくさんの事を学び、多くの人と出会うことが出来ました。

まだまだ景気の良くないこの宇和島と一緒に盛り上げて行きませんか？

40才までの限られた短い青年期の間で自分を成長させてみませんか？



南安岡蒲鉾店
安岡 弘和
【2010年度入会】

「自分が生まれ、育ったこの街に微力ながら貢献したい。」
「JCI活動を通して、自分自身も成長したい。」と感じ宇和島青年会議所に入会しました。

入会してからは、仕事とJCI活動の両立で大変忙しい毎日を送っております。しかし、事業に参加する中で、自分自身が何かを持ち帰って、次につながるように心がけて活動しております。

活動を通して得た物は、何事にも変えることが出来ず、これからの自分自身にとって糧となることと思っております。



宇和島扶桑㈱
石松 一嗣
【2010年度入会】

元気が無く暗い宇和島をどうしたらいいのか？ そんな気持ちでJCIに入会しました。

若い力が宇和島を動かし、愛媛を動かし、四国を動かし、そして日本、世界を動かして宇和島が見本になるような事をやれば 全世界が振り向いてくれると思っています。

さあ今眠っている魂を呼び起こしてみませんか？ 今若い力が必要です。それが自分の為会社の為につながって行きます。自分自身入会して良かったと思っています。

社団法人宇和島青年会議所のドアをノックしてみませんか。

三原則

1. 修 練 (Training) 地上最大の宝は個々の人格にあり
2. 奉 仕 (Service) 人類愛への奉仕は人生最大の仕事である
3. 友 情 (Friendship) 友情は国家主義に優先する

JCI 宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する
確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱 領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じとする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

入会資格

20歳から40歳までの青年男女

諸費用

年会費 120,000円

運 営

青年会議所は会員の会費によって運営されています。
どのような団体の干渉も受けずに活動できるのはそのためです。

会 員 企 業 名	石山熱帯植物園	土居 真 珠	宇和島自動車	第 一 商 事
	伊勢田司法書士事務所	土居 銘 木	エルプランコ	森 建 金 物 店
	共栄工務店	アポトライ	高田商店	安岡蒲鉾店
	上 栄 工 務 店	南予森林組合	権 太 大	宇和島扶桑
	亀 和 建 設	和牛の店丸協	角 藤 鉄 工 所	花 ま つ
	キノシタ	四国レジャーサービス	えひめ南農業協同組合	四季グループ
	Bee&Biene	宮脇タクシー	兵 頭 工 務 店	アミニティハウス宇和島店
	里 井 組	東 洋 開 発	長 瀬 商 店	
	宇和島生コン	森 本 商 事	南 豫 通 運	
	西部包装	オフィストラスト	アコ・スタジオ	
	佐川印刷	盛 運 汽 船	伊 豫 貨 物 自 動 車	
	タチバナ建材店	宇和島信用金庫本店	か く や 姫	
	フジラベルサービス	河 田 建 設	えひめ南農業協同組合宇佐支所	

(順不同)



(社)宇和島青年会議所

青年会議所は活動の基本を「修練」「奉仕」「友情」におき
会員は「明るい豊かな社会を築き上げる」ことを共通の理想としています。
また、会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、
地域との協働により社会の発展に貢献することを目的としています。

**修練・奉仕・友情を信条とし
よりよい社会づくりを目指す。**

青年会議所とは？

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。現在、全国に709の青年会議所があり、約40,000人の会員が、三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革などの社会的課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

青年会議所の特性

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会に貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られています。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていけます。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば政界では200人を超える国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。



スローガン

変革なくして 進歩なし いぎ！ 宇和島維新！

第57代理事長

土居 信明

所 信

あなたの思い描く未来の宇和島は素晴らしいですか？

～はじめに～

100年に1度と言われる現在の不況により、子供のころ人で溢れていた商店街にはシャッターが閉じている店舗が増え、至る所でみられる「貸し店舗」「売り土地」等の看板、企業の倒産や撤退…暗い話ばかりです。だからといって指をくわえてこの現状を傍観するわけにはいきません。我々青年会議所という団体には「明るい豊かな社会を築き上げる」高い理想と目標があり、地域の経済人としてこの活動を行うことは、必ず自分にプラスとして返ってきます。溢れる自信をもって行動していきましょう。

～つながってきたこと～

日本JCが60周年を迎えるこの年に我々宇和島青年会議所は57番目の新しいページを開きます。56年間続いてきた歴史、伝統、そして行ってきた事業、これらを受け継ぎ古きものを大切にしながらも新しい風を取り入れ、今までがそうであったように、常に試行錯誤し、魅力や刺激を生み出していかねばなりません。そのことこそが、繋がってきたことであり、繋いでいくことにほかなりません。

～「信」じること～

仕事にしても、なんにしても、まず失敗のことから考える人は少ないと思います。事にあたる際、確かにいろいろな不安はつきまといまいます。しかしそれが本当に自分がやりたいことであるなら、まずうまくいった時のことを想像しましょう。その想像をもっともっと膨らませましょう。そして仲間を信じましょう。熱い思いを持って、信じる仲間と共に物事に当たれば必ずいい結果が出るに違いありません。

～「明」るく～

「笑う門には福来る」という諺が日本にはあります。いつも笑っている家には幸運がもたらされるという意味であり、この場合の家とは、一家であり一族を指します。確かに現在は前述したように不況です、が、心まで不況に陥ることはありません。楽しくしている家庭には自然と人が集まってくるものであり、その結果「福」も集まるはずで。同様なことが私達青年会議所にも言えるはずで。笑い、時には激論を交わし、我がまち、我が地域のために楽しく活動することは、人を集め、まちに「福」をもたらします。人間の目は前についています。過去を忘れず前を向き明るく積極的に活動しましょう。

～むすびに～

幕末の志士である坂本龍馬は、「薩長同盟」「大政奉還」という大事を成し、明治維新に大きな影響を与えてきましたが、道のりは辛く険しいものであり、多くの仲間を失いながら都度悲しみを乗り越え現在の民主主義の礎を築いていきました。しかし、その背景には勝海舟、西郷隆盛、桂小五郎、海援隊といった気持ちを同じ有する同志や師に恵まれ、常に熱い思いをもって自分の考えを説き理解してもらい成就した経緯があります。まちのため、子供たちのため、そして自分や家族や会社のため、ぶれない考えを持ち、情熱を持って事に取り組み、この時代に青年会議所活動ができる喜びと周囲の人々への感謝の気持ちを忘れることなく、創意工夫して物事に当たりましょう。そして、「だれかがやってくれるだろう」そんな他力本願的な考えは捨て、進取の精神をもって事にあたり、将来を見据え、よりよい物を目指して変革の意思を持ち、希望に満ち溢れた未来の宇和島像の創造に向け進んでいきましょう。道は必ず開けます。

基本理念

現状に満足することなく試行錯誤し、未来に向け明るい宇和島を創造しよう

基本方針

1. 公益法人格取得に向け財務面での最終検証
2. 青年会議所のメンバーだから経験できる例会の運営
3. 情報共有できるネットワークの構築
4. 未来を担う人材の発掘と、ひとづくりの場としての活動
5. 地域力の活性化と青少年の育成を踏まえた未来への可能性の追求
6. 地域を巻き込み、次世代に繋いでいくまつりの運営

Activity

J Cはどのような活動をしているのでしょうか？



ガイヤカーニバル

宇和島青年会議所ではまちづくりの一環としてうわじま牛鬼まつり「ガイヤカーニバル」の開催、運営に携わっています。先輩方のゼロから立ち上げたガイヤも昨年で22回目となりました。会場の設営からすべてのスケジュール管理、警備等に裏方としてメンバー一丸となって取り組んでいます。また走り込みでは山車を作るところから始まり、川に走り込むまで強い友情が感じられる事と思います。現在のメンバーが全員これらまつりの経験を活かし、より深く青年会議所活動に関わっています。



家族会

日頃の私達の活動を支えてくれている家族に対して感謝の意を込めて毎年「家族会」を企画しています。昨年度はJ C大運動会in中山池～走らないかんぜよ～と題してメンバー家族みんなで運動会を行い、その後バーベキューで懇親を深めました。



大ちゃんのcan can キャンプ

宇和島を支えている産業と言えば豊富な自然をいかした、みかんを中心とした農業。豊かな宇和海をいかした、養殖・真珠などの漁業の2つがあげられます。今回その1つの海での産業を体験させたく企画致しました。

子供達は宇和島の産業がどの様なものか理解していても、実際に目で見て体験したことのある子供は少ないと思います。そこで我々は宇和島の基盤である漁業を体験させ、多くの子供たちに漁業のすばらしさや海の大切さを教え宇和海で育った地元の美味しい魚を食べ「地産地消」「食育」等、今地域が取り組んでいる愛郷心を持ってもらうための事業を行いました。

活動紹介

<総務>

制度改革に伴い、公益社団法人か否か、決は最終段階にきており、今後の方向性に非常に重要な時期に差し掛かります。JCの運動が、事業が、なんのための活動か再認識するいい機会だととらえ、慎重に取り組み、どの方向に進もうが順応できる体制を整えなければなりません。また、昨今インターネット・携帯電話の多機能化などにより情報の入手は非常に簡単になっています。そんな今だからこそできる会員間相互の情報交換としてのソフトを利用してはどうだろうか。近年の温暖化に見られる地球規模での環境の変化、また、今世紀前半に南海地震が起こる可能性は80～90%とも言われます。まちづくり団体である我々の義務としてネットワークを含めた危機管理能力の向上は必須だと考えます。

<会員>

会員数の減少は宇和島青年会議所にとって深刻な問題であり、将来の存続に対して危局な状態です。魅力が感じられないから？いいえ決して違います。日本、地区、ブロック、そして我が宇和島青年会議所が行ってきた事業には、深い意味と熱い情熱が込められています。それらに魅力がないなんてことはありません。歴史と伝統を受け継ぎ、「この宇和島は私達の手でつくるんだ」そんな自覚と覚悟を持ち、一丸となり、諦めることなく発掘し未来を担う人材育成「明るく豊かなひとづくり」の最適な

場としての宇和島JCを目指していきます。

<事業>

私達は親から生を受け、家庭や地域から育ててもらい、企業や環境を受け継いできました。今度はそれらを「いいかたち」で子供達へと繋げていかなければなりません。それは義務であり使命でもあります。昨今の親が子を、子が親をといった悲惨な事件の報道が蔓延する中、今一度自分がなぜ生きているのか、生きてこれたのかを改めて考える時間を持ち、そして、「おはようございます」「ありがとう」といった感謝の気持ちが素直に言える環境作りに取り組んでいきます。

<まつり>

本年「うわじま牛鬼まつり」は45回目の節目を迎え、その初日を飾る「ガイヤカーニバル」も今回で23回を数えます。先輩から引き継ぎ、進化し続けてきたこの「祭り」という事業をどのような形で後世へとつなげていくのか、様々な外部団体とどう関わっていくのかを検証する時期にきており、論ずることに終わることなく新たな可能性を見出していきます。そして想像力を「かたち」に変えていく作業を精一杯楽しんで、明るい豊かなまちづくりの一助としていきます。

<http://www.jaycee.or.jp/>